



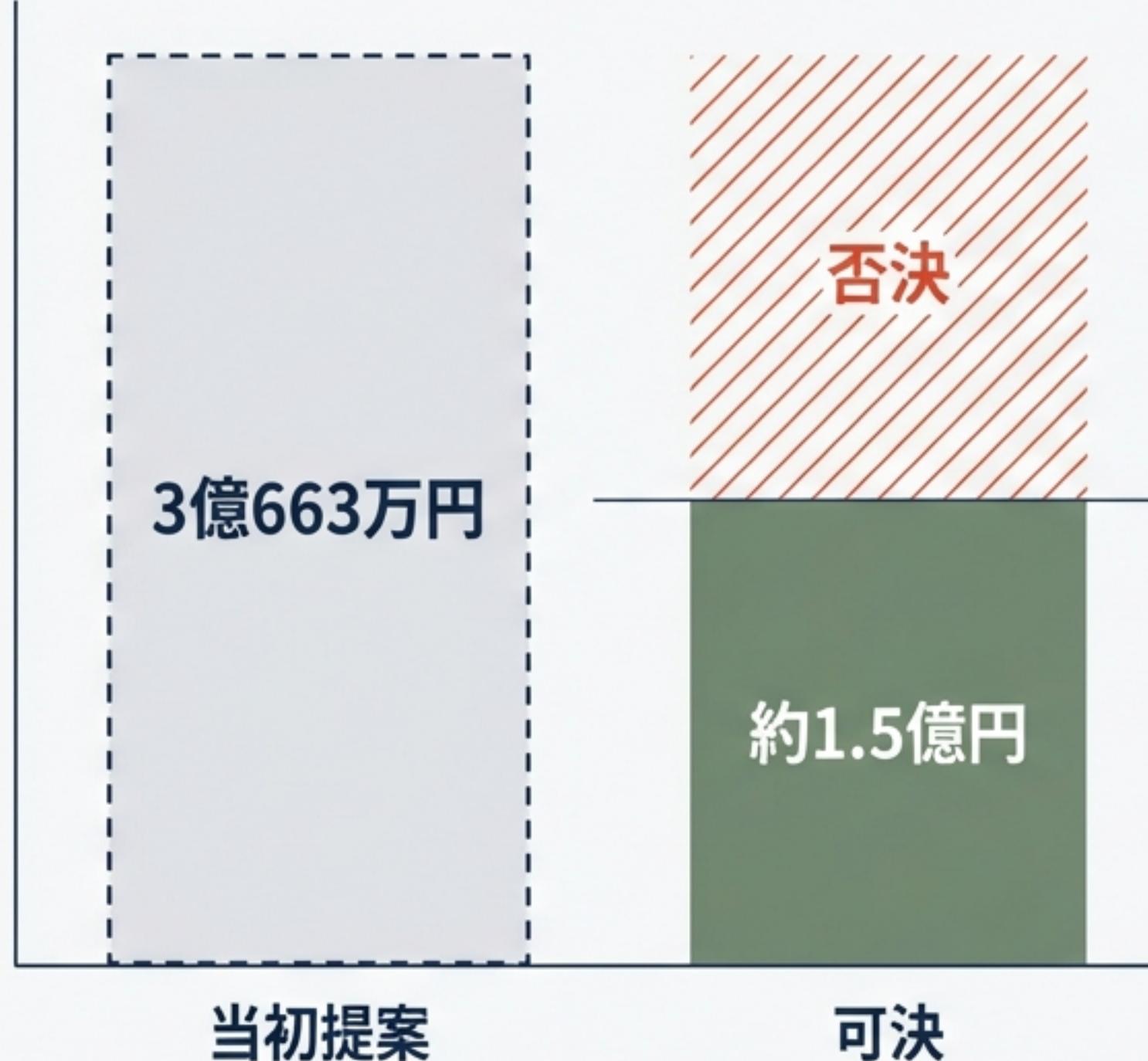
令和6年第2回新得町議会定例会 審議レポート

酪農支援と財政規律の狭間で—
株式会社新得アユミルクへの融資問題を徹底解説

2024年6月21日 最終本会議 / 議案第57号 修正動議の顛末



エグゼクティブ・サマリー：議会が下した「修正」の決断



提案 (Proposal)

町は経営難の「新得アユミルク」に対し、債務返済と設備投資を含む3億円超の貸付を提案。

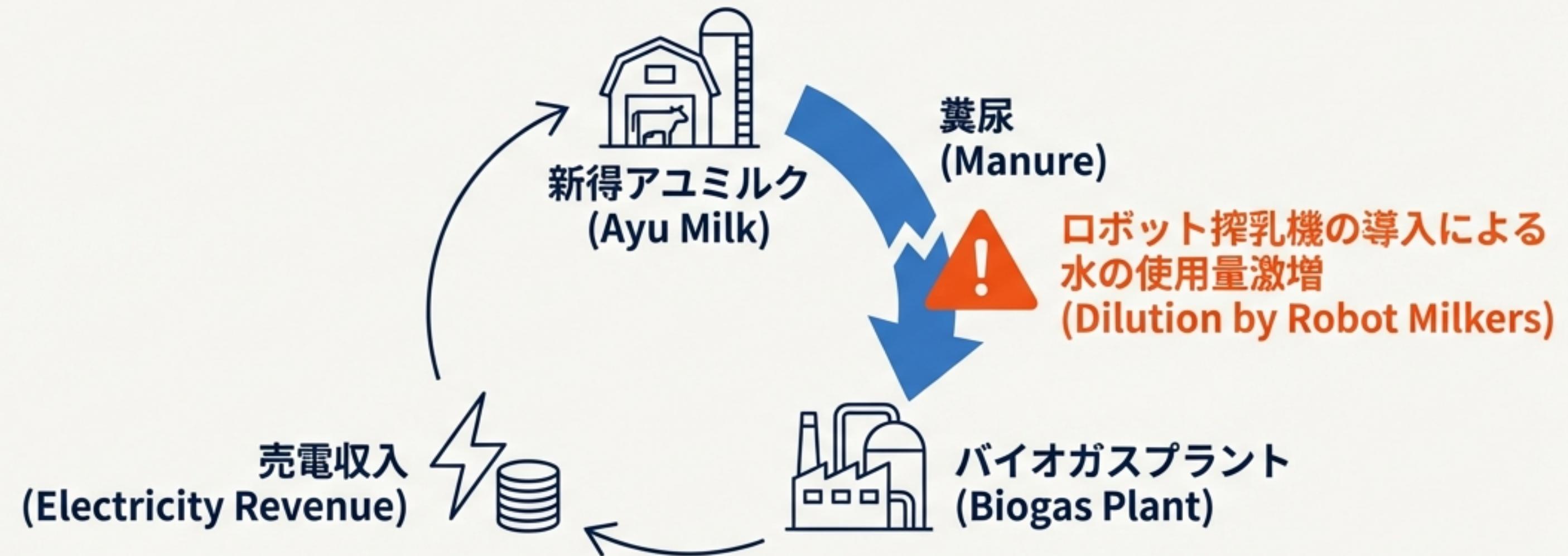
争点 (Conflict)

議員らから「税金での借金肩代わり」に対する懸念と、20年返済計画の実現性に疑問が噴出。

結末 (Result)

設備投資（ラグーン建設）のみを認め、債務返済資金を削除する「修正動議」が可決。

危機の発端：バイオガス・エコシステムの機能不全



想定外の排出量
105t → 162t
(+57.6t/日の増加)

希釈の影響
水分過多により
メタンガス発生量が低下

経済的打撃
売電収入の減少
→ 経営悪化

行政の提案（議案第57号）：3億円融資の内訳

「地域酪農の担い手」を守るために公的支援という論理



- 希釀された大量の糞尿を貯留し、バイオガスプラントを正常化するため。
 - 飼料高騰・生産抑制による債務超過からの脱却支援。
 - 旧畜産試験場 設備改修費
- 合計
3億663万円

“行政の主張：アユミルクは研修牧場・ヘルパー事業を担う「公益性」高い存在であり、破綻は地域酪農の崩壊を招く。”

議会からの追及：計画の甘さと担保の懸念



青柳議員
(Aoyagi)

「当初計画（32t/日）と実績（75.5t/日）の乖離が大きすぎる。
予測できなかったのか？」

回答: 補助事業の計算値と実稼働の差が想定外だった。



森本議員
(Morimoto)

「**担保は安全か？ 農協が連帯保証というが、担保の牛は農協ではなくアユミルクの資産ではないか？**

回答: 牛はアユミルクの所有物である（リスクが高い）。



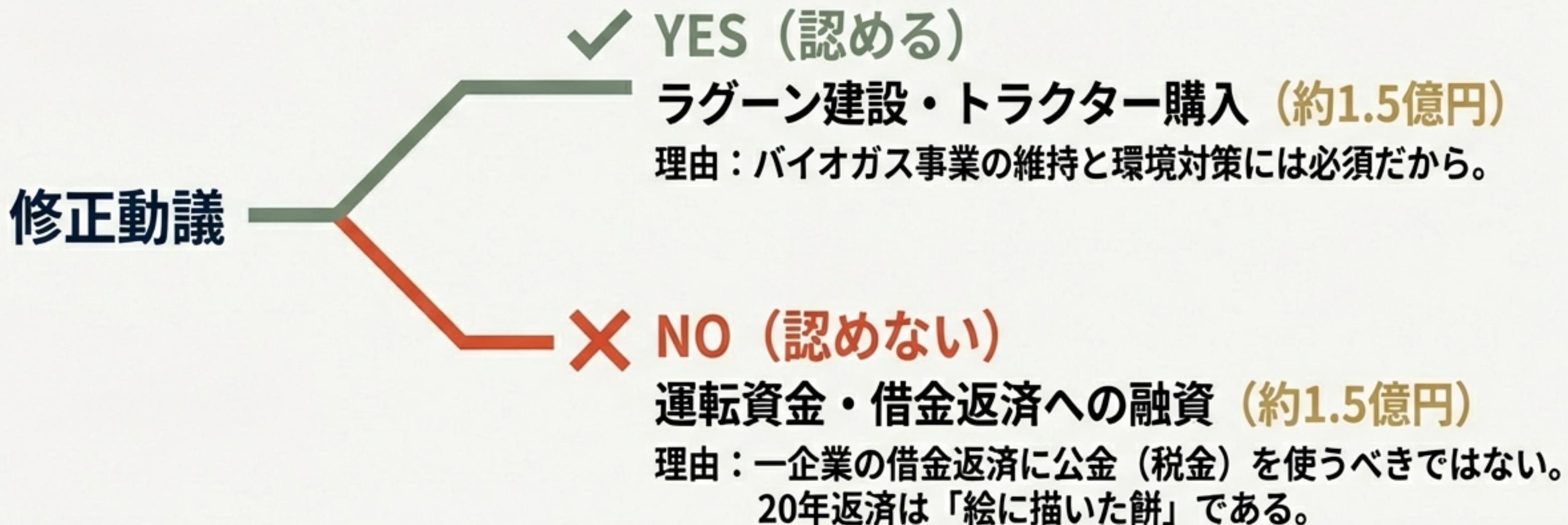
菊池議員
(Kikuchi)

「**20年という長期返済計画は、今の酪農情勢で現実的なのか？**

回答: 非常に厳しいが、規模拡大で黒字化を目指すしかない（農協説明）。

修正動議の提出：湯議員・森本議員らによる決断

「債務超過の会社に、税金を原資として漠然と貸し付けることはできない」



討論：修正案への賛否（是々非々の議論）

修正案に賛成 (予算削減を支持)

代表者：森本議員, 菊池議員

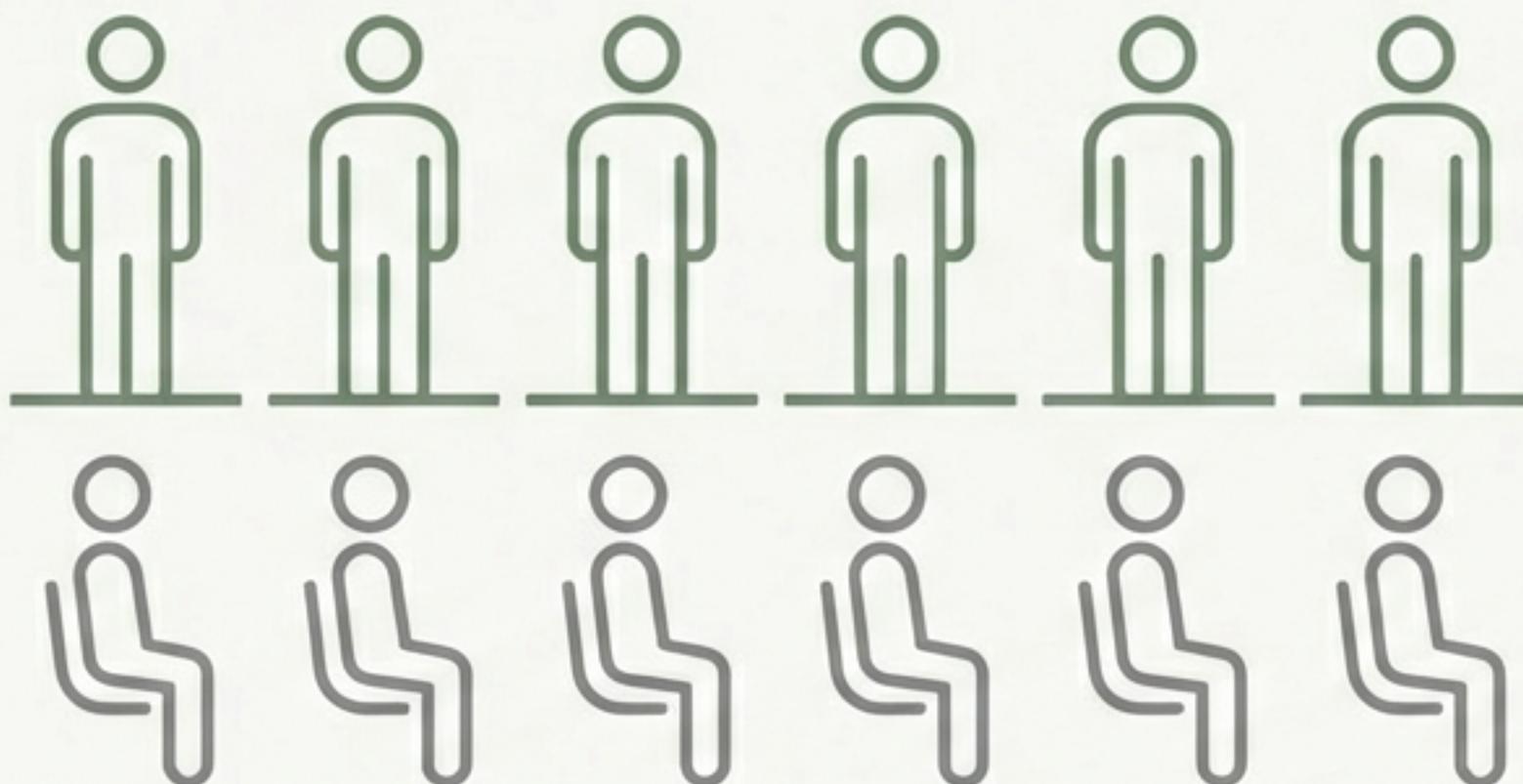
- ・**担保が流動資産（牛）では不安。**
- ・一度立ち止まって考えるべき。
20年計画は楽観的すぎる。
- ・市民から預かった大切な**お金の使い道**として、**公平公正**ではない。

修正案に反対 (原案通りの融資を支持)

代表者：若杉議員, 福原議員

- ・アユミルクは人材育成・ヘルパー事業を担う地域のシンボル。
- ・今、支えなければ**廃業のリスク**がある。
- ・農協が連帯保証についており、信用は担保されている。

採決結果：修正案の可決



起立多数（6名）
により可決

- 結果：3億円 → 1億5142万6千円へ減額
- 意義：町議会は「環境対策（ハード整備）」には協力するが、「赤字補填（ソフト支援）」にはNOを突きつけた。
- 異例の展開：行政と農協が作成した再建計画に対し、議会が「待った」をかけた。

その他の審議：新庁舎備品・工事契約（全会一致で可決）



議案第53号：終末処理場
受変電設備更新工事

1億648万円



議案第54号：新庁舎備品
購入 その1

3063万5千円
((株)相馬商店)



議案第55号：
新庁舎備品購入 その2

3415万5千円
((有)石川家具店)



議案第56号：新庁舎
木製デスク購入

1683万円
(社会福祉法人厚生協会)

意見書：国への要望（全会一致）



最低賃金

北海道最低賃金の改正・引き上げ



教育予算

義務教育費国庫負担率の1/2復元、30人以下学級の実現



ゼロカーボン

森林・林業・木材産業施策の充実強化



教職員の働き方

業務量に見合った配置と時間外勤務手当の支給

総括：機能する議会デモクラシー



チェック機能の發揮

行政提案を鵜呑みにせず、リスクを精査し、予算を修正する「二元代表制」が機能した。

今後の課題

今回認められたラグーン建設で、**バイオガスプラント**の不振は本当に解消するのか？融資を削減された**アユミルク**は、独自に経営再建できるのか？

結び

議会は、今後もこの20年にわたる長期プロジェクトを監視し続ける必要がある。